深い泉

名品人生による新しいはじまり

はじまりが重要なのは、結果を含んでいるからです

人間の幸せと不幸は、所有しているものの多少とは関係ないということは、だれでもみな知っている事実です。ニューエイジ分野の名作と呼ばれる「さとりをひらくと人生はシンプルで楽になる」（The power of now）を書いたエックハルト・トール（Eckhart Tolle）は、人間が不幸になる方法には 2 種類があって「願うものを持つことができないのと、願うものをすべて持つことだ」と言いました。彼はあなたが幸せを望んだら最も重要な時間は「今」だと話します。「あなたがいま直面している状態以外の状態を探そうとしてはならない。そうでないと、内的葛藤と無意識的抵抗に直面するようになるだろう。生活に何の抵抗もしないのは、恵みと安らかさと気楽さの状態に留まることだ…」と話しながら、いま私の状態がどれくらい重要なのかに焦点を合わせています。なによりも現在のことを省みずにきらびやかな未来だけを想像するのは、私たちが、いまこの瞬間を楽しむことができないようにさせる障害物であるだけだと説明します。ところで、いまの私の状態を左右するそのなにかが私自身でない他のものならば、どのようにしなければならないのでしょうか。過去、現在、未来という時間の限界の中に生きていかなければならない人間の生活を、運命と運勢などのどんな条件とも関係なく、幸せにできる根源的な解決策はないのでしょうか。それゆえ、この世には多様な宗教が存在しているのです。

多くの人と世の中の宗教は、時間が過ぎ去るほど地上の楽園が成されると話します。ところで、聖書は時間が過ぎ去るほど、苦痛とのろい、災いが来ると預言しています。「*終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり、情け知らずの者、和解しない者、そしる者、節制のない者、粗暴な者、善を好まない者になり、裏切る者、向こう見ずな者、慢心する者、神よりも快楽を愛する者になり、見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。こういう人々の中には、家々に入り込み、愚かな女たちをたぶらかしている者がいます。その女たちは、さまざまの情欲に引き回されて罪に罪を重ね、いつも学んではいるが、いつになっても真理を知ることのできない者たちです。*」（テモテへの手紙第二 3:1~7）歴史を見て、今日の社会で起きる想像もできないぞっとする事に接すると、聖書の預言が偽りでないことを確認するようになります。

はたして、このような苦痛を自分の方法で解決できるのでしょうか。今日も多くの宗教が自らの神（神様）を信じていると話しています。それでは、聖書のみことばとは何が違うのでしょうか。一つのことが違います。その神様に会う道が違っているのです。

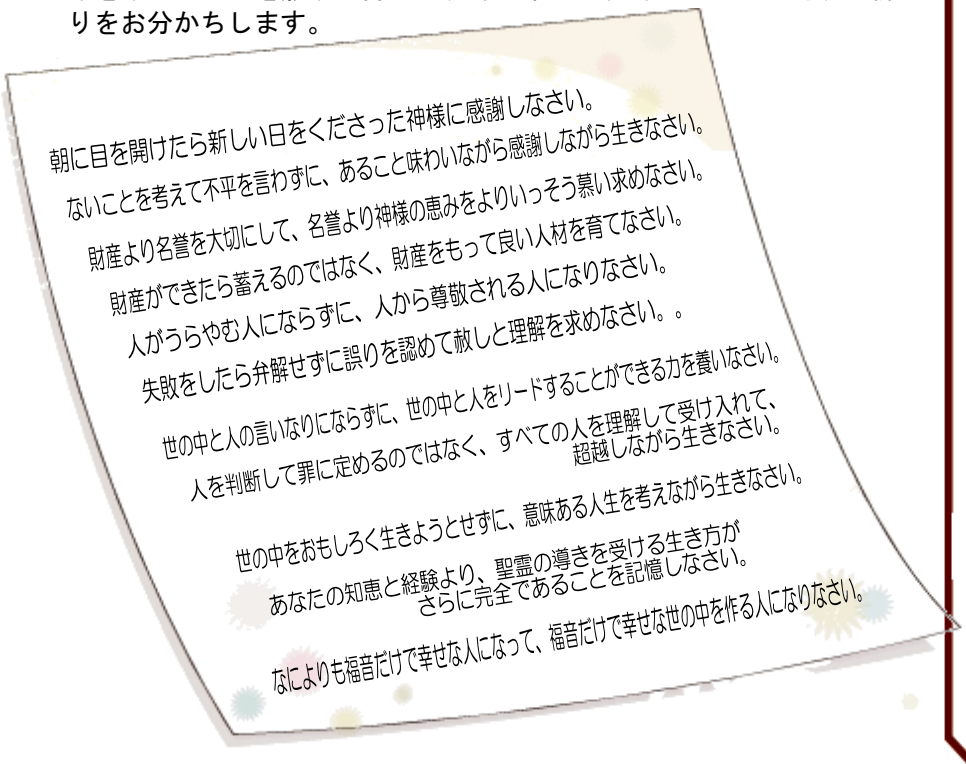
人間が本当に真実になったら、自分でいくつかのことを発見するようになります。私たちの人間は限界があるという事実を発見するようになります。もう少し真実になれば、私たちの人間は罪人であるということを発見するようになります。私たちがもう少し真実になれば、とうてい理解できない霊的問題があるという事実を悟るようになります。私も分かっていて、家族も分かっている霊的問題があります。ところで、家族も分からないで、私だけが分かる霊的問題もあります。ですから、正常な芸能人が自殺すれば家族が驚くのです。ところでさらに深刻なのは、私も分からない霊的問題があるのです。この世に完全な人間はいません。どこかの部分に障害を持っていて、知らず知らずにいろいろな分野で病をわずらっているのが人間の実存です。私が分からない霊的問題がとても多くて、なぜ滅びるかも分からない問題が多いのです。これが世の中を生きていく人間の限界です。それで、神様に会わなければならず、神様に会う正しい道を知らせるのが聖書の核心です。

名品人生への正しいはじまり

聖書は人間に苦痛が始まるようになった原因を確かに明らかにしてくれています。単純な人間の弱さや嘘のゆえではなく、原罪のゆえです。申し訳ないのですが、どんな宗教でも明らかにしていないのが、聖書にだけ原罪のためにそうなのだと出ています。原罪とは何でしょうか。本来の人間は神様と交わりながら一緒にいるように神様のかたちの存在として創造されました。ところで、問題が生じたのです。目に見えない暗やみの存在であるサタンの誘惑にだまされて、人間が神様を離れるようになったのです。神様を知らなくなったのです。ですから、人間の生死、災いと祝福を治めておられる神様を知らない人間は、失敗するしかありません。その原罪を説明する事件が、まさに聖書の創世記３章の事件です。この事件以後に、人間はいくら努力をしてもだめになって、むしろ努力するだけ問題がくるようになりました。それで、教育と科学が発展して、所得の水準が高くなっているのに、犯罪と子どもの堕落はますますもっと深刻になっているのです。ところで、神様を離れたということが、たんにそのまま終わるのではありません。結局は、人生全体が悪魔の手に完全に捕われて、運命と運勢というくびきに閉じ込められ、いくら努力してもよくならない状態に陥ってしまったのです。詳しく調べてみれば、先進国であるほど精神問題、麻薬問題、家庭問題、次世代の問題はさらに深刻です。そうするうちに、人間はしきりに自分も知らない間に解決策を見出そうとして偶像の中に陥るようになります。ますますサタンが作っておいた滅びの戦略の中に陥るようになるということです。このようにして、いま全世界で一番多い病気が心の病気、精神病です。そうして、肉体の病気も続いてくるしかありません。表面では笑って通っているのですが、日が進むにつれ隠された苦痛で難しくなるのです。多くの芸能人が表面では笑っているのですが、ことばにできない苦痛に苦しめられている人があまりにも多いのです。このように苦労して、死んでからは地獄に行くようになります。そして、さらにくやしいのは、私が受けた苦しみが私の子どもにもそのまま伝えられるという事実です。この問題は人間がいくらもがいて、宗教を持っても解決されません。いくら善行をしても解決されません。それゆえ、神様が直接会う道を開いてくださったのです。私たちが罪人であったときにキリストが十字架で死んで復活されることによって、救いの道を開かれたと聖書で言われています。キリストがサタンの勢力を完全に打ちこわして、その手から抜け出す道、神様に会う道、罪とのろいから解放される道を開いてくださいました。それでイエス様がこのように宣言されたのです。「*イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』*」（ヨハネの福音書14:6）**「主イエス・キリストを信じれば、いますぐ神様の子どもになります」**これが名品人生へのもっとも確実な第一歩で、まことの幸せのはじまりです。

「ひとり」家系を変えることができます

幸せなひとりが家庭と家系を変えることができます。あるときは、ひとりによって、一つの国と地域が生かされたり、滅びたりもしました。歴史の中を見れば、ひとりの信仰がある家系と子孫が、どれくらい大きい祝福の影響をおよぼしたかを簡単に確認できます。チョン・グァン氏の<聖書を愛します>という本を見れば、ジョナサン・エドワーズ（Jonathan Edwards）の家系に対する話が出ます。お父さんから、神様を尊敬して愛する人は、隣を愛して仕えなければならないという話を耳にたこができるように聞きながら、早くから仕えることに対する教育を受けたエドワーズは、1727 年 7 月 28 日にサラ・ピアポント（Sarah Pierpont）と結婚して 30 年の歳月を共にしながら、11 人の子どもを産みました。妻と一時間以上ともに祈りながら、すべてのことを妻と分かちあって、子どものたましいと信仰にも深い関心を持ちました。その結果、彼の子孫はアメリカ社会に大きい影響を及ぼす最高の名門の家柄を成し遂げました。プリンストン大学にはエドワーズの家系を研究する「ジョナサン研究センター」が立てられたりもしました。実際にエドワーズの子孫を調べた結果、約 1,400 人の子孫の中で、14 人の総長、学長、100 人以上の牧師、神学者、宣教師、100 人以上の裁判官と判事、60 人以上の医師、70 人以上の作家と言論人、教授 65 人、上院議員 3 人、州知事 3 人、大統領 1 人、軍高級幹部 25 人などが輩出されたということです。私たちの子孫もこういう祝福の中で一年を始めることを願う気持ちで、ある幸せな牧師の子どもに対する祈りをお分かちします。



「神様はあなたを家庭と家系の祝福の根源として呼ばれました」

神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス·キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。
イエス·キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。
どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。
そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。
今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

人生 地図 があります

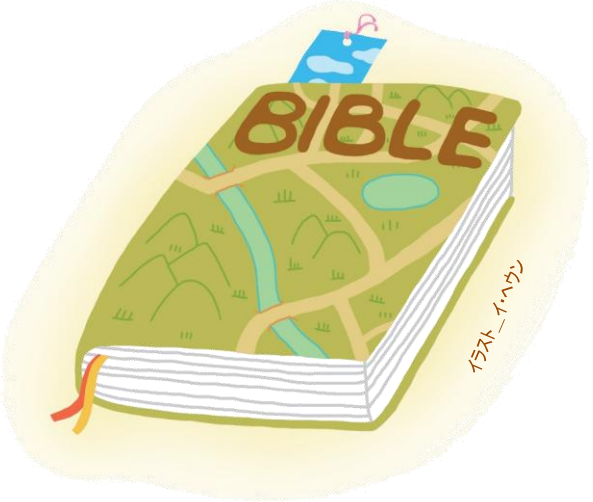
いつも生活している自分の町は、地図がなくてもよく通えるが、自分の地域を抜け出せば、なじみがうすい地形に会うようになる。韓国は全土が工事現場なので、感覚で簡単に動くと道をさ迷うようになるのが常だ。韓国も、いまは外国人がたくさん訪問するので、彼らは観光地図を持って市内を回る。私たちが慣れて分かる道を、彼らは地図をこちらに回して、あちらに回しながら、市庁の目の前に立って、市庁がどこかと尋ねる時は、おもしろく思うが、事実、私たちが海外に出て行けば、全く同じことをしたり、そういう目にあったりもする。

建築をする時も、工事の図面があって、機械を作る時も機械の図面があり、なにかの作業をする時もマニュアルがあり、そのとおりに進行するのに、最高の人生が行く道に何の地図もないということは話にもならない。最近、科学者が完成させたゲノムは人間の地図だと言える。ネイバー百科事典によれば、この研究はガン・痴呆・糖尿病・後天性免疫欠乏症、すなわち、エイズなどのような難病や不治の病を治療できるきっかけを作ったことで、ゲノム地図を土台に病気に決定的な影響を及ぼす遺伝子を明らかにして、その遺伝子を交替したり機能することができないように予防することができ、個人の遺伝子の特性により薬品や治療法を別にするオーダーメイド式治療も開発されそうだ。このように、有形的な人間のからだ地図は健康を維持させてくれるが、人間の無形的な人生を成し遂げる人生の地図を運命という言葉で簡単に話す。それで、人生が生年月日による運命に従って、時代もここに合わせて意味なく引きずられて行くのだが、それは正しい地図でなく偽りの地図だ。

人生に意味を与えるのは哲学だが、哲学は数えきれないほど、多くの考えを整理する羅針盤に過ぎなく、地図自体ではない。人生が深く長い間の苦しみの中でやっと見つけ出したのが宗教であるが、それは哲学を根拠に考えを整理して、道ではないが道のように見えるように人生を案内するので、それもまた地図でなく方向舵に過ぎない。

それなら、まことの人生の地図は人生の源流から進行と結末を明快に知って言ってくれる根拠がなければならないが、それはまさに人類最大のベストセラーである最も多く売れて最も多く読まれる聖書だ。誤った地図を上げていたので問題を見ることもできなかった結果としての人生の現実が苦痛であるから、のろわれた人生だと簡単に話してしまうが、本来の人間は祝福された存在だ。誤ってとめたはじめのボタンによって、結局、人生全体は問題の人生として絡まってしまうようになったので、人生の問題解決者が誰なのかを知らないから、こういう偉人、ああいうりっぱな人を探しながら人生を一生浪費する。しかし、聖書は人生の問題の間違ったこと正す解答がキリストなので、その方を通して人生を生かす重要な答えを地図を通して与えてくれている。これは今日を生きる人生にも安心になって、未来を迎えるすべての人生にも価値を見つけるようにしてくれる道になる。宗教の偉人で、自分が道だと話した人はいるだろうか。ただイエスだけが自分が道だと話す。彼は錯覚論者でなければ、キリストなのだ。

チョン・ヒョングク(福音コラムニスト)



＊相談したい方はこちらまでどうぞ